

閉会中の

平成26年の常任委員会共通の重点テーマ「茨城のイメージアップにつながる魅力発見と

農林水産委員会

焼き芋を通じた産地づくりや海岸防災林の松枯れ被害状況などを調査 (5/12)

農林水産委員会(村上典男委員長)の個別審査テーマ:「豊富な農林水産物のPRと販売促進」、「県オリジナル品種の普及拡大と新品種・新技術の開発」、「拡大する耕作放棄地の解消」

なめがた農業協同組合(行方市)

なめがた農業協同組合の甘藷(かんしょ)部会では、美味しさを追求した甘藷の栽培や貯蔵施設の整備などによりしっとりとして、糖度の増した甘藷を通年で安定的に出荷する体制を確立するとともに、焼き方にこだわった美味しい「焼き芋」の販売に取り組むことで産地をPRし、販売額を伸ばしています。

これまでの取り組みについて説明を受けた後、平成24年度に整備した定温・定湿度管理できる貯蔵施設を調査しました。



甘藷貯蔵施設を視察する委員

神栖市海岸防災林(神栖市)

津波被害などに対して減災効果の高い海岸防災林について、松くい虫被害などにより松枯れが生じてその機能が低下しているため、県では、被害木の伐採や広葉樹植栽による樹種転換を図るとともに、被害予防のための薬剤散布を実施しています。今回、神栖市海岸防災林の松枯れの現況や植栽の状況などについて現地調査を行いました。



海岸防災林の状況の説明を受ける委員

偕楽園公園や一般県道藤沢荒川沖線バイパス整備事業などを調査 (5/19)

土木企業委員会

土木企業委員会(館静馬委員長)の個別審査テーマ:「集客・観光につながる県土づくり」

偕楽園公園整備事業(水戸市)

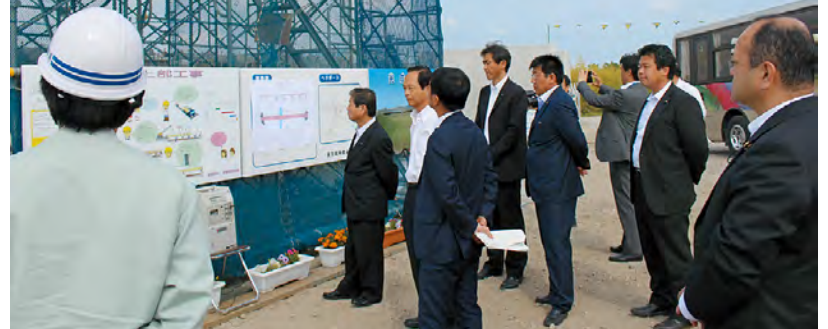
東日本大震災を踏まえ、耐震性貯水槽や非常用照明等の整備により、広域避難場所としての防災機能の強化が進められた同公園において、さらなる魅力向上を図るために今年度実施予定の表門周辺整備・もみじ谷園路広場整備などの状況について、現地調査を実施しました。



偕楽園公園にて整備状況の説明を受ける委員

一般県道藤沢荒川沖線バイパス整備事業(土浦市・つくば市)

土浦市とつくば市の連携強化と地域の利便性に寄与し、防災拠点としても重要な施設であるつくばヘリポートへのアクセス性向上などを図る同事業について、桜川にかかる(仮)新桜橋の工事箇所にて説明聴取を行い、現地調査を実施しました。



橋りょうの整備状況の説明を受ける委員

文教警察委員会

ものづくり人材育成の取り組みや交通マナー向上対策などを調査 (5/8、5/22)

文教警察委員会(萩原勇委員長)の個別審査テーマ:「教育庁関係「茨城のイメージアップにつながる教育施策と今後のPR戦略」、警察本部関係「交通マナーの向上対策」「県・自治体、地域住民及びボランティア等との連携推進」

つくば工科高等学校(つくば市)

つくば工科高等学校は、産業技術の進展や地域の要請に応じたものづくり人材育成を図るため、本年度入学生からは従来の3学科から4学科に改編しました。中でも、ロボット工学科は他にあまり例のない学科であり、今回の調査では、音を感知して作動するロボットや人間の腕の動きに合わせて同じように動くロボットなどについて同学科の生徒から説明を受けるなどしました。



生徒からロボットについて説明を受ける委員

首都高速道路株式会社西東京管理局(東京都)

首都高速道路では毎年1万件を超える交通事故が発生しており、事故を減らし事故による渋滞の解消などを図るため、平成19年から東京スマートドライブプロジェクトを発足させました。

これは、他人に配慮する運転をしようという取り組みで、褒める、シェアする、楽しむをキーワードに展開されており、その運動の輪は全国的に広がりを見せています。その状況の説明を受けるとともに、管制室の調査を行いました。



管制室の調査をする委員